



どうぐ 道具とくらしのうつりかわり

むかし どうぐ
『昔の道具』 383.9△

工藤 員功／監修 ポプラ社

小中学生の調べ学習に必要な情報を満載した、テーマ別の学習資料集。明治時代から昭和時代を中心に、日本の生活のなかで使われていた道具を豊富なカラー写真でビジュアルに紹介。博物館・資料館ガイドも掲載。



ふる どうぐ むかし じてん
『古い道具と昔のくらし事典』 383.9▽

内田 順子, 関沢 まゆみ／監修 金の星社

昔の人はどんなくらしをしていたのでしょうか。江戸時代～昭和時代を中心に、生活のなかで使われてきたさまざまな道具を、それが使われていた頃の生活の知恵や工夫とともに紹介。コピーして使える、書き込み式の道具カード付き。



『くらべる100年「もの」がたり』 383.9ク

新田 太郎／監修 学研教育出版 ※シリーズあり(1～5)

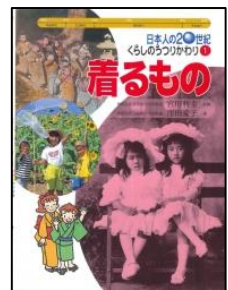
人々が使う「もの」が、現在までのおよそ100年間にどのように変わっていったかを写真やイラストで紹介し、くらしを豊かにしようとした人々の願いや努力を伝える。1は、家庭の道具を取り上げる。クイズも掲載。



にほんじん せいぎ
『日本人の20世紀・くらしのうつりかわり』 210.6二

宮田 利幸／監修 小峰書店 ※シリーズあり(1～10)

科学技術の進歩により、社会が飛躍的に発展した20世紀。この100年間の日本人の暮らしをさまざまな角度から振り返る。1では着物、はきもの、アクセサリ等のうつりかわりをビジュアル満載で紹介。



『昔の道具 もののうつりかわりを見てみよう!』 383.9△

国土社編集部／編 国土社 ※シリーズあり(1・2)

より便利に、もっと安全に使えるように、進化してきた道具。昔の道具、その後の道具の移り変わりを見てみよう。使われる目的が同じ道具を古いものから順に2～3つ紹介。1は、家・身のまわりにある道具を取り上げる。



『おじいちゃんの小さかったとき』 384.5△

塩野 米松／文 松岡 達英／絵 福音館書店
※「おばあちゃんの小さかったとき」もあり

おじいちゃんは子ども時代、どんなことをして遊んだの? ビー玉、めんこ、チャンバラ、イナゴとり…。1950年代～1960年代の子どもたちの暮らしを細やかに伝える。祖父母の世代と孫の世代をつなぐ本。



『昔のくらしの道具事典 新版』 383.9△

神野 善治, 小林克／監修 岩崎書店

羽釜、ちゃぶ台、ちょうちん、箱まくら、火鉢、大八車など、明治、大正、昭和時代につかわれていたくらしの道具を生活シーンごとに分類して紹介する。つかい方、進化の様子、マメ知識なども収録。



『昔の子どものくらし事典』 384.5△

本間 昇／監修 岩崎書店

昭和30～40年代を中心とした時代に、子どもがどのようなくらしをしていたか、何をして遊んでいたかがわかるように、当時の一般的なことから手がかりにして紹介する。

